

令和3年度 第1回 春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会 会議録

会議概要	
日 時	令和3年8月2日(月曜日)午後6時30分から午後7時45分まで
場 所	旭川市春光台公民館講座室
出席者	委員(13名, 50音順) 池田委員, 伊林委員, 上森委員, 大久保委員, 小原委員, 菊池委員 高橋委員, 竹内委員, 玉井委員, 早坂委員, 水野委員, 山本委員 横山委員 (欠席者: 杉本委員) 事務局 春光台公民館: 日比野館長, 藤村専門指導員, 高橋事務 旭川市市民生活部: 林部長 旭川市地域まちづくり課: 今課長, 吉岡
会議の公開 ・非公開	公開
傍聴者の数	0名
会議資料	次第
	資料1: 春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会委員名簿
	資料2: 春光台・鷹の巣地域 令和3年度活動計画
	資料3: 令和3年度春光台・鷹の巣まちづくり推進協議会開催イメージ

議 事 の 内 容

1 春光台・鷹の巣地域のまちづくりの検討と推進について

(1) 春光台・鷹の巣地域 令和3年度活動計画

【事務局】

資料2: 春光台・鷹の巣地域 令和3年度活動計画について説明

- ※「高台通学合宿」については, 8月26日(木)~28日(土)の日程で実施を予定していたが, 緊急事態宣言の発令によって実行委員会を開催することができず, 実施の有無について書面にて会議を行った結果, 全員一致で今年度は実施することが難しいとの判断に至った。
- ※「子ども支援事業」についても指導の対象が子どもであり, 指導者も高齢者が多く, ワクチン接種も十分に進んでいない状況であることから, 現段階では事業を進めることができないであろうとの判断から, 昨年度に引き続き, 「中止」ではなく「休止」している状況である旨の連絡を実行委委員の皆様へ差し上げている。
- ※「多世代ふれあい交流会」については, 10月24日(日)に実施を予定しているが, 新型コロナウイルス感染症の状況がどうなるかわからない現状で実行委員会を開催して実施の有無を判断しなければならないことから, その前段として推進協議会の委員の皆様のご意見をお聞かせ願いたい。

【委 員】

- ※今年度は, 敬老会やSOSネットワーク等の事業なども中止になっていることから, 10月という時期を考えたときに, 今年度の実施は難しいのではないかと考える。

【委 員】

- ※会場が密になる状況であることから, 実施については1年延期した方がよいと思う。

【委員】

- ※8月末には準備を開始しなければならないことや会場の混雑状況を考慮したときに昨年度と同様の形での実施は難しいと考える。
- ※現段階でどのようなこととは言えないが、別の内容での実施についても検討を試みたらよいと思う。

【委員】

- ※現段階でのワクチン接種の状況を考えると、今年度は中止した方がよいと考える。

【委員】

- ※内容的には大変すばらしい取組なので、2年間中止となったときに、次につなげるための資料等をきちんと準備しておく必要がある。

【会長】

- ※委員の皆様のご意見や現在のコロナウイルス感染症やワクチン接種の状況から、今年度の「多世代ふれあい交流会」については中止とする。

(2) その他

ア 「道ありき事業」について

【副会長】

- ※道ありきの坂の名称公募事業と石碑の設置事業を進めてきたが、坂の名称公募については531名の公募があり、優秀作品8点、最優秀作品1点を選考した。
- ※石碑の設置については、坂の上と下に設置を予定していたが、春光台公園南側にある文学記念碑の脇と春光台中学校の正門の横に設置することになった。
- ※7月14日に石碑の設置を行い、7月28日に参加者20名で石碑の完成式を実施した。
- ※石碑の今後の維持管理については、実行委員会を継続させる、新たな組織を作る、既存の団体に引き継いでもらうなどの方法について、実行委員会の3役で検討を進めている。

【会長】

- ※この事業に関しては、まちづくり推進協議会としても後押しをしてきた事業であるが、石碑の設置に関しては、地域の自然保護団体からの反発があったと聞いているので、まちづくり推進協議会としては、地域の中でトラブルが起きるようなことは避けなければならない。

イ ゴミステーションへの住所表示事業について

【副会長】

- ※ゴミステーションの新設(2カ所)と設置場所の変更(2カ所)により、新たな表示板を4枚作成し、設置をした。
- ※春光台地区には217カ所の表示板が設置されている。

ウ SOSネットワークによるその他の事業について

【副会長】

- ※SOSネットワーク地域づくり部会では、春光台の未来プロジェクト第2回の開催を11月頃に春光台中学校で実施する予定で準備を進めている。